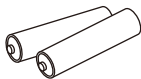
Handy Video Recorder Q2HD

ユーザーガイド

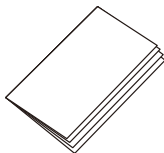
ご使用になる前に
「安全上の注意」を
必ずお読みください

同梱品一覧

・Q2HD 本体

・単三形乾電池× 2（試供品）

※電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電池を使用してください。

・SD カード

・ユーザーガイド（本書）

動画の編集 / 共有ソフトウェア HandyShare

HandyShare を使うには、付属の SD カードに収められている HandyShare のインストーラーをダブルクリックして、インストールを行ってください。また、パソコンに QuickTime がインストールされていない場合は、HandyShare 起動後の画面の指示に従ってインストールを行ってください。

各部の機能

■ 基本画面

録音／録画時間や録音／録画が可能な時間を表示します。

SD カードが差し込まれているとき、アイコン▯が表示されます。SD カードが差し込まれていないときは何も表示されません。

現在の動作状態を表示します。

音量レベルを表示します。

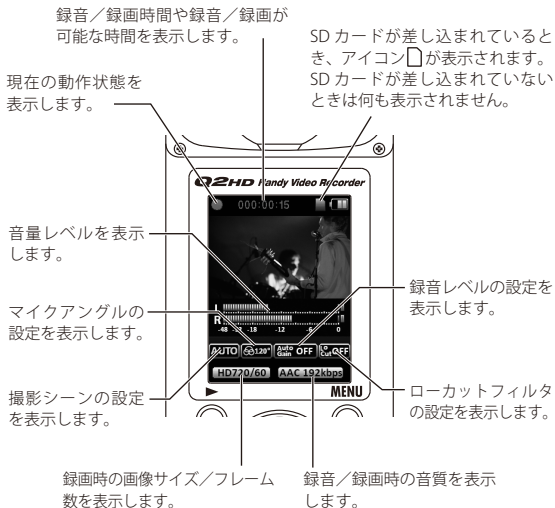
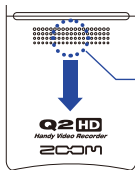
マイクアングルの設定を表示します。

撮影シーンの設定を表示します。

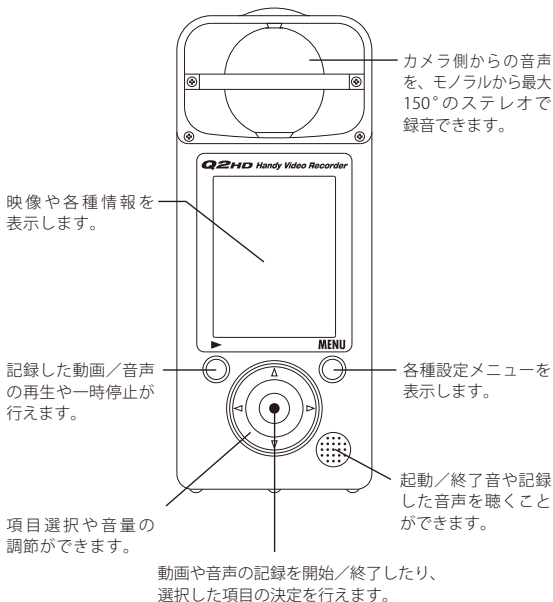
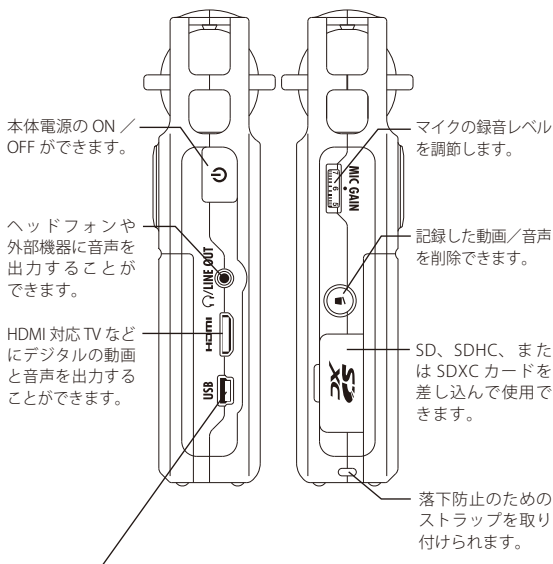
録音レベルの設定を表示します。

ローカットフィルタの設定を表示します。

録画時の画像サイズ／フレーム数を表示します。

録音／録画時の音質を表示します。

■ 電池の入れ方

※電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電池を使用してください。

各部の機能のつづき

■ 本体各部

- パソコンと接続して、電源の供給、カードリーダーや USB マイク、Web カメラとして使用できます。
- iPad と接続して、USB マイクとして使用できます。
- 別売の AC アダプター（ZOOM AD-17）も接続できます。

日時の設定

記録した動画／音声ファイルの情報に反映されますので、最初に正確な値を設定してください。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Set Date」を選択し、● を押す。
4. ▲▼◀▶ を使用して現在の日時に合わせる。
5. 設定を終えたら、MENU を押す。

電池種別の選択

電池の種別を設定することにより、正確な電池残量を表示させることができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Battery」を選択し、● を押す。
4. ▲▼ で使用する電池の種類を選択し、● を押す。
5. 設定を終えたら、MENU を押す。

※電池はアルカリ電池またはニッケル水素充電池を使用してください。

SD カードのフォーマット

SD カードを初期化して、Q2HD で使用できるようにします。この操作を行うと、すべてのデータが消去され、元に戻すことができなくなりますので注意してください。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。

2. ▲▼◄► で SETTING を選択し、● を押す。

3. ▲▼ で「SD Format」を選択し、● を押す。

4. ◄► を使用して、フォーマットする場合は「Yes」を、しない場合は「No」を選択してから、● を押す。

●「Yes」を選択した場合

フォーマットが開始されます。

●「No」を選択した場合

SETTING メニューに戻ります。

5. フォーマット終了後、「Done」と表示され、SETTING メニューに戻る。

MEMO

SD カードのプロテクトを ON にしていると、フォーマットできません。

雑音の軽減

ローカットフィルタ機能を ON にすると、風による雑音などを軽減させる効果があります。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◄► で INPUT を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Lo Cut」を選択し、●を押す。
4. ▲▼ で「On」または「Off」を選択し、●を押す。
5. 設定を終えたら、MENU を押す。

MEMO

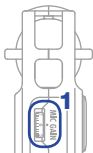
アクセサリーパック「APQ-2HD」に含まれるウィンドスクリーンを使用することで、より効果が高まります。

音声のモニター設定

録音している音声をライン／ヘッドフォン出力端子、HDMI 端子からモニターすることができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◄► で INPUT を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Sound Monitor」を選択し、●を押す。
4. ▲▼ で「On」または「Off」を選択し、●を押す。
5. 設定を終えたら、MENU を押す。

録音レベルの調節

マイクの録音レベルを調節することで、小さな音から大音量のバンド演奏まで最適なレベルで録音することができます。録音レベルは、手動または自動で設定できます。

1. 録音状況に合わせて、MIC GAIN ノブでマイク感度を調節する。

■ 録音レベルを自動設定するには

1. MENU ◎ を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◄► で INPUT を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Auto Gain」を選択し、●を押す。
4. ▲▼ でマイク感度を選択し、●を押す。

Off
MIC GAIN ノブで、手動で設定する。

Concert
バンド演奏、コンサートなど大音量向け。

Solo
ソロ演奏など小音量向け。

Meeting
会議などフィールドレコーディング向け。

5. 設定を終えたら、MENU ◎ を押す。

撮影シーンの選択

動画の撮影状況に応じて、カメラの設定を選択できます。暗いところや強いライトのあるステージでも、最適な動画を撮影することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。

2. ▲▼◀▶ で SCENE を選択し、● を押す。

3. ▲▼ でモードを選択し、● を押す。

Auto

自動的に最適な設定を行います。

Concert Lighting

ライブやコンサートなど、強いライトがあるシーンに最適な設定を行います。

Night

夜間や暗いシーンに最適な設定を行います。

4. 設定を終えたら、MENU を押す。

画質の選択

録画時の解像度とフレーム数を変更できます。
画質を上げると、録画可能な時間は減少します。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◄► で VIDEO を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で解像度・フレーム数を選択し、● を押す。
4. 設定を終えたら、MENU を押す。

設定	画像サイズ	フレーム数／秒	主な用途	ファイルサイズ
HD1080/30	1920 x 1080	30	HD テレビでの再生。	大
HD720/60	1280 x 720	60	動きの早いシーンの録画。	
HD720/30	1280 x 720	30	HD テレビやパソコンでの再生。	
WVGA/60	800 x 480	60	SD カード容量の節約と動きの早いシーンの録画。	
WVGA/30	800 x 480	30	SDカード容量の節約。	小

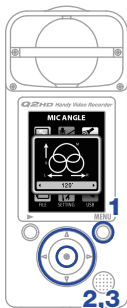
音質の選択

録音／録画時の音質を選択できます。
音質を上げると、録音可能な時間は減少します。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◄► で SOUND を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で音質を選択し、● を押す。
4. 設定を終えたら、MENU を押す。

設定	内容	ファイルサイズ
PCM 96/24	圧縮を行わない WAV フォーマットで、音質重視の録音に向いています。 サンプリング周波数 (kHz) ／量子化ビット数 (bit) の数値が大きいほど、高音質になります。	大
PCM 96/16		↕
PCM 48/24		
PCM 44.1/24		
PCM 48/16		
PCM 44.1/16		
AAC 320kbps	圧縮を行う AAC フォーマットで、SD カードの容量を節約できます。 ビットレート（kbps）の数値が大きいほど、高音質になります。	
AAC 256kbps		
AAC 192kbps		
AAC 128kbps		
AAC 64kbps		小

マイクアングルの設定

内蔵ステレオマイクの左右の広がりを設定することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。

2. ▲▼◄► で MIC を選択し、● を押す。

3. ◄► でマイクアングルを選択する。

MONO
モノラルで録音します。
30°、60°、90°、120°、150°
それぞれのステレオ指向角度で録音します。

4. 設定を終えたら、MENU を押す。

> **MEMO**
>
> 音声録音中や USB マイクとして使用中に、◄► を押すことで、マイクアングルの設定ができます。

録音／録画する

基本画面からボタン１つで録音／録画が開始されます。

1. 準備が整ったら、(●) を押す。
録音／録画が開始される。

- 録画するか録音（音声のみ）するかの選択は、CAMERA で行います。

- (◄)(►)を押すことでズームイン／アウトを、(▲)(▼)を押すことでモニター音声の音量調節を行えます。

＜ズームイン／アウト＞

＜音声のみの場合＞

＜音量調節＞

2. 録り終えたら、(●) を押す。
基本画面に戻る。

MEMO

- 録音／録画中にカードへの転送速度が間に合わなかった場合、「Low Speed Card !」と表示され停止します。これを避けるため、クラス４以上のカードの使用を推奨します。また、www.zoom.co.jp では、使用可能な SD カード情報を公開しています。

再生する

録音／録画した音声や動画を再生します。

1. 基本画面で ▶◎ を押す。

2. 別のファイルを再生したい場合は ◄ ► で選択し、 ▶◎ を押す。

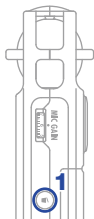
● その他のボタン機能

音量調節 …………	▲ ▼
早送り／早戻し …	再生中に ◄ または ► を長押し
一時停止／解除 …	再生中および一時停止中に ▶◎

MEMO

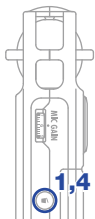
- Q2HD で撮影された動画しか再生することができません。
- 動画の再生中に ▶◎ を長押しすることで、横向きに大きな画面で再生することができます。横向き画面では、◄ ►で音量調節、▲ ▼ で早送り／早戻しを行えます。縦向き画面に戻るには、再び ▶◎ を長押しします。

削除する

動画や音声を削除し、メディアの空き容量を増やすことができます。

1. 削除したいファイルを再生させ ⓘ を押す。

・基本画面で押すと、最後に再生、もしくは録画したファイルが削除対象として選択されます。

2. 確認画面が表示されるので、削除するには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、◉ を押す。

■ 複数のファイルをまとめて削除するには

1. 基本画面または再生状態のとき、 を押し、Delete this file? 画面を表示させる。

   ・ この時もう一度 を押すとファイル選択画面が表示されます。

2. ▲▼◄► で削除したいファイルにカーソルを合わせ、● を押す。

3. 削除するファイルの数に応じて手順2を繰り返す。

   ・ すべてのファイルを削除したいときは、 を押します。

4. 選択し終えたら、 を押す。

5. 確認画面が表示されるので、削除するには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、● を押す。

編集する

記録した動画や音声を「分割（DIVIDE）」したり、「部分削除（TRIM）」することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。

2. ▲▼◄► で FILE を選択し、● を押す。

3. 記録したファイルがサムネイルで表示されるので、▲▼◄► で編集したいファイルを選択し、● を押す。

4. 編集メニューが表示されるので、▲▼ でメニューを選択し、● を押す。

   ・次ページを参考に確認・編集します。

5. 確定操作後、再確認画面が表示されるので、実行するには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、● を押す。

6. 編集を終えたら、MENU を押す。

＜ DIVIDE（分割）＞

操作	機能
◄ ►	分割位置移動
►（再生ボタン）	再生／一時停止
●	分割位置の確定

＜ TRIM（部分削除）＞

操作	機能
◄ ►	削除範囲の始点／終点位置移動
▲ ▼	削除範囲の始点／終点切り替え
►（再生ボタン）	再生／一時停止
●	削除範囲の始点／終点位置確定

＜ INFORMATION（ファイル情報）＞

操作	機能
MENU	編集メニューに戻る

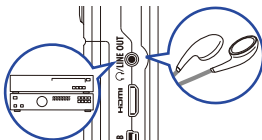
外部機器との接続

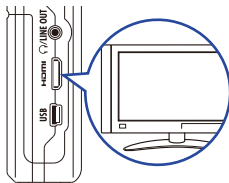
目的に応じて、色々な機器に接続できます。

■ カードリーダーや USB マイク、Web カメラとして使う（USB 接続）

パソコンや iPad と USB ケーブルで接続します。
→ 20 ページ「USB の接続」

■ 外部オーディオ機器、ヘッドフォンで音声を聴く（LINE OUT 接続）

ヘッドフォンを使用したり、外部オーディオ機器のアンプを利用して音声を聴くことができます。
録音中の音声をヘッドフォンで聴くには、モニター機能を ON にします。
→ 7 ページ「音声のモニター設定」

■ TV で表示する（HDMI 接続）

HDMI ケーブルを使用して、HDMI 対応 TV に、高画質で表示させることができます。

MEMO

TV によってサポートされている音声フォーマットの種類が異なるため、正しく再生できない場合があります。

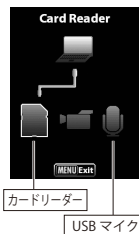
注 意

Q2HD 側の端子は HDMI ミニ端子（タイプ C）です。
市販の HDMI ケーブルを使用する場合は、片方の端子が Q2HD と接続するための HDMI ミニ端子（Type C）で、もう片方がお使いの TV に合った形状の HDMI 端子の、High Speed HDMI Cable（カテゴリ 2 ケーブル）を使用してください。

USB の接続

パソコンと USB ケーブルで接続し、カードリーダーや USB マイクとして使用したり、Web カメラとして動画と音声のストリーミングを行うことができます。また iPad と接続し、USB マイクとして使うこともできます。

MEMO
- パソコンと接続した場合は、USB から電源を供給できます。ただし、ケーブルを接続しただけでは電源は ON になりません。⏻ を押してください。
- iPad の場合は、USB から電源は供給できません。

■ パソコンでカードリーダーや USB マイクとして使うには

1. Windows 搭載 PC または Macintosh と USB ケーブルで接続する。
2. ⏻ を押して起動する。
   - USB 画面が表示されます。
3. カードリーダーの場合は◀▶でカードアイコンを選択し、● を押す。
   USB マイクの場合はマイクアイコンを選択し、● を押す。
4. パソコンに接続される。
5. 終了するには、カードリーダーの場合はパソコンで USB 接続解除の操作を行い、USB ケーブルを取り外す。USB マイクの場合は、そのまま USB ケーブルを取り外す。

MEMO
USB マイクとして使用中も、INPUT の各機能やマイクアングルを設定することができます。

USB の接続のつづき

■ パソコンで Web カメラとして使うには

1. Windows 搭載 PC または Macintosh と USB ケーブルで接続する。

2. ⏻ を押して起動する。

3. USB 画面が表示されるので、◄ ► でビデオアイコンを選択し、● を押す。

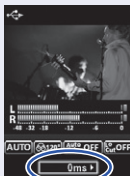
4. パソコンに接続されるので、ストリーミングアプリケーションなどで、Q2HD を Web カメラとして使う。

5. 終了する場合は、パソコンで USB 接続解除の操作を行い、USB ケーブルを取り外す。

MEMO

- 最高で HD720p の画質の動画、PCM48kHz/16bit の音声を同時にパソコンへ送ることができます。
- パソコンの再生信号を Q2HD から出力することはできません。
- Web カメラとして使用するためには、付属の SD カードに収められているドライバ（www.zoom.co.jp からもダウンロードできます）が必要です。
- Web カメラとして接続中も、INPUT の各機能や、撮影シーン、マイクアングルを設定することができます。ただし、ストリーミング中に設定することはできません。

■ ディレイの設定

Web カメラとして使用中、ストリーミングアプリケーションにリップシンク機能がない場合は、◄ ► で音声の遅延時間を選択して映像とのタイミングを合わせることができます。

USB の接続のつづき

■ iPad で USB マイクとして使うには

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。

2. ▲▼◄► で USB を選択し、● を押す。

3. ◄► でマイクアイコンを選択し、● を押す。

4. Apple Camera Connection Kit を使用し、iPad と USB ケーブルで接続する。

5. iPad に接続される。

6. 終了する場合は、USB ケーブルを取り外す。

注意

- Q2HD の電池残量が足りないときや、電池がセットされていないときは、iPad では USB マイクとして使用できません。
- USB マイクとして使用中も、INPUT の各機能やマイクアングルを設定することができます。

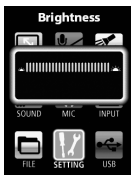
ディスプレイの明るさ／省電力の設定

ディスプレイの明るさや省電力の設定をすることができます。

1. MENU ◎ を押し、メインメニューを表示させる。

2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押す。

3. ▲▼ で「Back Light」を選択し、● を押す。

■ ディスプレイの明るさを設定するには

＜ Brightness ＞

4. ▲▼ で「Brightness」を選択し、● を押す。

5. ◀▶ で明るさを設定し、MENU ◎ を押す。

■ 省電力の設定をするには

＜ Power saving ＞

4. ▲▼ で「Power saving」を選択し、● を押す。

5. ▲▼ で「On」または「Off」を選択し、● を押す。

MEMO

- On に設定すると、30 秒間、操作が行われない場合にディスプレイが暗くなります。
- AC アダプター使用時には、省電力の設定は反映されません。

HDMI ビデオ出力の設定

HDMI 端子から出力するビデオ方式を設定することができます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「HDMI Out」を選択し、● を押す。
4. ▲▼ で「NTSC」または「PAL」を選択し、● を押す。
5. 設定を終えたら、MENU を押す。

MEMO

日本国内では NTSC が標準です。

情報の表示

ファームウェアのバージョンと録画可能な空き容量を確認できます。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Information」を選択し、● を押す。
4. 情報を確認する。
5. 確認を終えたら、MENU を押す。

設定内容をリセットする

画質や音質、シーン設定など、Q2HD の設定内容を工場出荷時の状態に戻します。

1. MENU を押し、メインメニューを表示させる。
2. ▲▼◀▶ で SETTING を選択し、● を押す。
3. ▲▼ で「Reset」を選択し、● を押す。
4. 確認画面が表示されるので、リセットするには「Yes」を、キャンセルしたいときは「No」を選択し、●を押す。
5. リセット終了後、「Done」と表示され、SETTING メニューに戻る。

ファームウェアのバージョンアップデート

必要に応じて、ファームウェアのバージョンアップデートを行います。

MEMO

ファームウェアのバージョンは SETTING メニューの INFORMATION で確認することができます。

1. バージョンアップデート用ファイルを SD カードのルートディレクトリにコピーする。

   ・最新のバージョンアップデート用ファイルは www.zoom.co.jp からダウンロードできます。

2. SD カードを本体のカードスロットに差し込む。

3. アップデート画面が表示されるまで ▶ を押しながら ⏻ を押して起動する。

4. 表示されたアップデート内容でよければ、「OK」を選択して ◉ を押す。

5. アップデートが完了して「Complete!」と表示されたら、⏻ を押して終了する。

⚠注意

電池残量が足りないときは、バージョンアップデートできません。

安全上の注意

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

図記号の例

	「実行しなければならない（強制）内容」です。
	「してはいけない（禁止）内容」です。

⚠警告

■ 電源・電池について

- ACアダプターは、必ずZOOM AD-17（別売）を使用する。
- ACアダプターを長時間使用しないときは、コンセントから抜く。
- 乾電池を使う際は、市販のアルカリ電池またはニッケル水素充電池の単三形乾電池×2を正しい方向にセットする。
- 長期間使用しない場合は、乾電池を本体から取り出す。

■ 取り扱いについて

- 分解したり、改造しない。

⚠注意

■ 使用環境について

- 温度が極端に高いところや低いところでは使わない。
- 暖房器具など熱源の近くでは使わない。
- 湿度が極端に高いところや、水滴のかかるところでは使わない。
- 砂やほこりの多いところでは使わない。
- 振動の多いところでは使わない。

■ 取り扱いについて

- スイッチ類には無理な力を加えない。

このユーザーガイドは将来必要となることがありますので、必ず参照しやすいところに保管してください。

FCC regulation warning (for U.S.A.)

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device,pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- **Reorient or relocate the receiving antenna.**
- **Increase the separation between the equipment and receiver.**
- **Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.**
- **Consult the dealer or an experienced radio/ TV technician for help.**

For EU Countries

Declaration of Conformity:
This product complies with the requirements of
EMC Directive 2004/108/EC and
Low Voltage Directive 2006/95/EC and
RoHS Directive 2011 / 65 / EU

Disposal of Old Electrical & Electronic Equipment (Applicable in European countries with separate collection systems)

This symbol on the product or on its packaging indicates that this product shall not be treated as household waste. Instead it shall be handed over to the applicable collection point for the recycling of electrical and electronic equipment. By ensuring this product is disposed of correctly, you will help prevent potential negative consequences for the environment and human health, which could otherwise be caused by inappropriate waste handling of this product. The recycling of materials will help to conserve natural resources. For more detailed information about recycling of this product, please contact your local city office, your household waste disposal service or the shop where you purchased the product.